

## 第 28 回住生活月間中央イベント 「スーパーハウジングフェア in 兵庫」 開催

第 28 回住生活月間中央イベント「スーパーハウジングフェア in 兵庫」が神戸市にて 10 月 15 日（土）、10 月 16 日（日）の両日、開催されました。

今年は、「つよくてやさしいこれからの我が家～健康省エネ住宅&耐震性能の高い住まい～」をテーマとしました。近年の住宅を取り巻く環境の変化に対応して、平成 18 年には「住生活基本法」が制定され、ストック重視への政策転換が示されました。同法制定から節目の 10 年目に当たる今年は、これからの時代の住宅政策の指針となる、新たな「住生活基本計画」が策定されております。

今年 4 月に発生した熊本地震では、多くの建物が被災し、住宅等の耐震性能を確保することの重要性を改めて考えさせられる契機の年となりました。

一方、地球規模での「温暖化防止」という環境・エネルギー問題への取組に対する関心が益々高まりを見せており、耐震性能が高く、自然災害にも強い、併せて省エネ性能が高く、安全・安心、健康的に暮らせる住まいづくりに努めることが、時代の要請となってきております。

そこで、本年のテーマ展示では、省エネ住宅が、快適で健康に暮らすことができる住宅であることを紹介しました。

同時に住宅金融支援機構や都市再生機構をはじめとした住宅関連団体の展示や、家やまちの絵本コンクール受賞作品等の展示も行われました。

更に、全国 122 箇所の総合住宅展示場において全国統一キャンペーンを実施し、住生活月間の告知のご協力を頂きました。神戸市、神戸ハーバーランドセンタービル内の中央イベントテーマ展示会場には、会期中 3,000 名の方々の来場を頂きました。

10 月 15 日には、神戸ハーバーランドスペースシアターの展示会場において、高円宮妃殿下ご臨席のもとテープカットセレモニーが行われました。妃殿下は各出展ブースを視察され、受賞者との記念写真や、ご説明をお受けになっておられました。



テープカットセレモニー

引き続き、高円宮妃殿下のご臨席、石井国土交通大臣をはじめ多数の方のご来賓出席のもと、ホテルクラウンパレス神戸のボールルームにて「住生活月間・住生活月間中央イベント合同記念式典」が行われました。

住生活月間中央イベント実行委員会和田委員長は、那珂住生活月間実行委員会会長とともに主催者として挨拶し、また高円宮妃殿下よりお言葉をいただきました。



合同記念式典

和田委員長は、挨拶の中で「平成 18 年に住生活基本法が制定され、ストック重視への住宅政策が示されたこと、今年、同法制定から 10 年目の節目の年を迎え、これからの時代の住宅政策の指針となる「住生活基本計画」が策定されたこと、平成 21 年には、長期優良住宅制度が創設され、長期間住み継がれる、質の高い住宅の整備促進を図るための法制度が整えられていること、開催地である、兵庫県神戸市が、平成 7 年に兵庫県南部地震での大被害を経験していること、今年発生した熊本地震では、多くの建物が被災し、住宅の耐震性能を確保することの重要性を改めて考えさせられる契機の年となったこと、環境・エネルギー問題への対応として、自然災害にも強い、省エネ住宅の普及を推進していくことが、時代の要請になってきていること、ホームページ『住宅・すまい Web』を通じて、全国への住情報の発信を推進していること、更に、全国住宅総合展示場に於いてキャンペーンを実施していくことで、住宅・住環境、住まい方等について、豊かで快適な住まいを求める国民の皆様のお役に立つ情報を発信してまいります。」と述べました。同時に、この合同記念式典では、「住生活月間功労者」、「住まいのリフォームコンクール受賞者」、「家やまちの絵本コンクール受賞者」国土交通大臣賞等の表彰や、「熊本地震被災からの復興支援に功労があった方」に対する感謝状授与が行われました。